

Nordic Market Biweekly Report

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

情報提供資料

2016年3月8日

★為替・金利の動向

対円レート推移

(2016年2月19日～2016年3月4日) ※単位は円

	2月19日	2月26日	3月4日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	13.15	13.12	13.24	0.7%
スウェーデン・クローナ	13.39	13.32	13.31	-0.6%
デンマーク・クローネ	16.84	16.72	16.68	-1.0%
ユーロ(フィンランド)	125.70	124.74	124.40	-1.0%

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2016年2月19日～2016年3月4日)、北欧4カ国の通貨はノルウェー・クローネを除いて対円で下落しました。

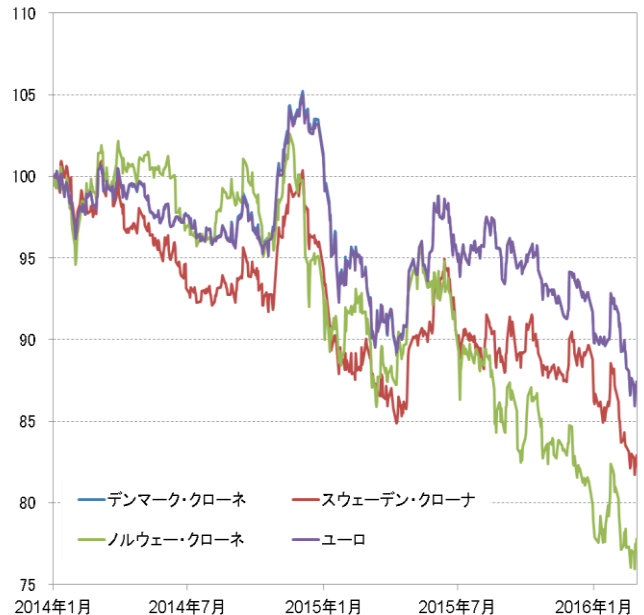
ノルウェー・クローネは、原油価格の回復を受けて上昇しました。一方で、ユーロとデンマーク・クローネは、英国の欧州連合(EU)離脱懸念の高まりを背景に下落しました。

※デンマーク・クローネは、ユーロにペッグされているため、ユーロとほぼ同様の動きとなっています。

対円レート推移

(2014年1月6日～2016年3月4日)

※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2016年2月19日～2016年3月4日) ※単位は%

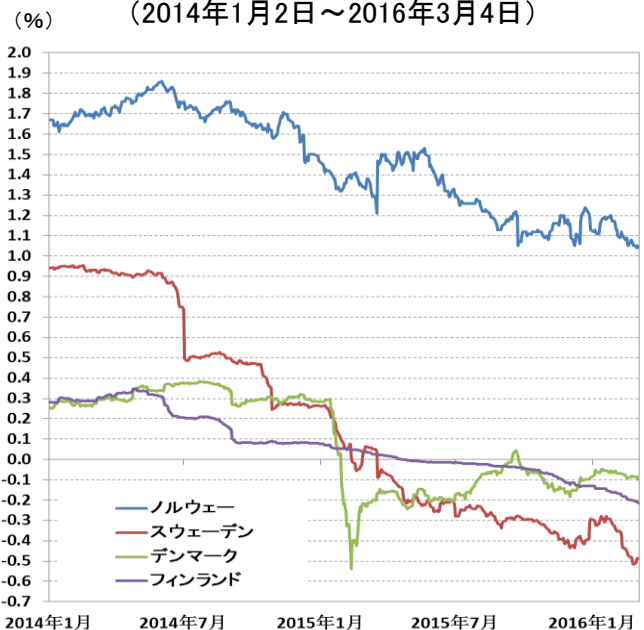
	2月19日	2月26日	3月4日	期間中変動幅
ノルウェー	1.050	1.050	1.040	-0.010
スウェーデン	-0.474	-0.515	-0.486	-0.012
デンマーク	-0.088	-0.085	-0.085	0.003
ユーロ圏(フィンランド)	-0.198	-0.202	-0.215	-0.017

期間中(2016年2月19日～2016年3月4日)の北欧4カ国の銀行間取引金利はデンマークを除いて低下しました。

ユーロ圏銀行間取引金利は、域内景気の減速が懸念されるなか、ECB(欧州中央銀行)による追加緩和への期待の高まりを背景に低下しました。スウェーデン銀行間取引金利は、同国の1月のPPI(生産者物価指数)が低下したことから、同国のインフレ率が目標の2%に達するまでには時間がかかるとの見方が広がったことなどをを受けて低下しました。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2016年3月4日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年3月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

☆北欧ニュース

<スウェーデン： 高成長を続けるスウェーデン>

スウェーデン統計局が2月29日に発表した2015年10-12月期国内総生産(GDP)は前年比で4.5%増、前期比で1.3%の増加となりました。金利が過去最低水準で推移していることや移民急増を受けた歳出拡大が成長を押し上げました。スウェーデン経済はEU内でも特に高い成長を記録しています。昨年12月時点で、スウェーデン国立経済調査研究所(NIER)は、同国の2015年10-12月期GDP成長率について、前年比で最大4.0%を達成するだろうと予想していましたが、今回発表された数値はそれを上回るものとなりました。前述の低金利や歳出拡大に加え、ここ最近の高成長は、好調な個人消費をはじめとした消費の増加が主な要因となっています。この堅調な消費の背景の一つとして、難民の流入増加が挙げられますが、当面は現在の移民情勢は大きく変わらない可能性が高いことから、今後も消費は経済成長率を押し上げる要因となりそうです。

<ノルウェー： 欧州最大の風力発電所の建設へ>

ノルウェーの国営企業である再生可能エネルギー会社StatkraftとデンマークのタービンメーカーVestasは、ノルウェーで欧州最大の陸上風力発電所を共同で建設することを発表しました。約110億ノルウェー・クローネの投資を行う見通しで、2020年までに1,000メガワットの発電が可能となる予定です。建設予定地は、フォーセン半島、スニルフィヨルド、ヒトラ島、とノルウェー第3の都市トロンハイム近郊の沿岸部で、いずれも欧州の中でも風力発電に最も適した地域であると考えられています。同プロジェクトはノルウェーにおいて、過去最大級の工業プロジェクトであり、多くの雇用を生むとともに、ノルウェーにおける再生可能エネルギーを後押しすることが期待されています。2020年の建設完了後には、年間3.4テラワットの再生可能エネルギーを生産し、17万世帯への電力供給が見込まれています。

<デンマーク： 4月国会でシリアへの派兵を提案>

デンマークのラスムセン首相は、4月の国会で「イスラム国」との戦闘における戦力拡大の提案を行うことを明らかにしました。デンマークは2014年に米国が主導する有志連合の空爆に参加し、この時には7機のF-16戦闘機を派遣、500回以上の任務を遂行しました。4月の国会では、F-16戦闘機に加え、C-130J輸送機と、特殊部隊ならびに支援部隊を含む地上部隊400人を派遣する提案を行う予定で、既に与党は賛成を表明しています。可決されれば、2016年半ばにシリアとイラクに派兵されることとなり、対「イスラム国」軍事作戦では最大派遣国の一つとなります。また、クリステンセン国防相は、「長期化することが予想される「イスラム国」との戦いは、軍事力のみによる解決は不可能であり、政府は開放地区の安定化、「イスラム国」の資金源遮断、外国人戦闘員による「イスラム国」への合流、および「イスラム国」のプロパガンダに対する対抗を強化する必要がある」と述べました。

出所:各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNP PARIBAS
INVESTMENT PARTNERS

BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年3月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。